



【 今年も残すところわずかになりました 】



6 月に熊本地震があり、11 月に雪が降るなど、いろんなことがあった一年でしたが、皆様におかれましては、つつがなく過ごされたことと存じます。

本年もご利用者・ご家族の皆さま、ボランティアの方々にご協力をいただきつつ、当施設の職員は、施設全体が明るい雰囲気と楽しい元気に溢れるように心がけてまいりました。このような仕事の進め方を大切にして、これからも職員が誇りを持って、ご利用者の皆さまの人生に寄り添わせていただくことを、「施設運営の基本」と心して頑張っております。

毎朝、「おはようございます」とご利用者の皆さまに挨拶に伺ううちに、これが私の人生の一部になってきています。また保育園の子どもたちも、時々、おじいちゃん、おばあちゃん（ご利用者）に、挨拶やおみやげ（子どもたちの出し物）をお届けし、生きる上で大切なことを学んでいます。プロの音楽家やボランティアの方々の演目も多彩です。このように、いろんな思いやエネルギーが、いつも施設の空間に満ちているように工夫していきたいと考えています。

マネーゲームが支配するグローバル社会で、株価や為替相場の「ばくち」の世界とは別に、人としての当たり前の生活を大切に、「お互いさま」の思いで、介護や子育てが、それぞれの人生をゆたかにしながら、成り立っていくことが、ますます求められています。

この 1 年をふりかえりながら、新しい年に向けて構想し、エネルギーを蓄えます。

今年最後の行事、クリスマスディナーが大いに盛り上がり、ご利用者の皆様一人一人の人生物語に豊かな一頁が加わるように、平成 28 年をまとめたいと思っております。

1 年間のご協力に心から感謝いたします。今月もよろしく申し上げます。

佐々木 榮一

